

褥瘡発生率

定義

令和2年度1年間での年間入院患者数に対する、新しく褥瘡が発生した患者数の比率（％）です。

褥瘡の定義は、「DESIGN R で d2 以上（深さ判定不能含む）、あるいは NAUAP の分類にてステージ II 以上（判定不能含む）に該当する褥瘡」としています。

算式

分子：新規褥瘡発生患者数

分母：年間入院患者数

当院の値（調査期間）

R2年度 0.33 % (年間)

R1年度 0.26 % (年間)

H30年度 0.35 % (年間)

H29年度 0.26 % (年間)

項目の解説

入院中に発生した褥瘡（床ずれ）は、患者のQOLを低下させ、入院の長期化につながることもあります。予防可能な褥瘡については、適切な診療やケアにより、発生を回避することができます。当該指標は予防への取り組みとその効果を示す指標です。

なお、各国立大学病院における褥瘡への取り組みの一環として、患者の褥瘡のサーベイランス（発生状況を経時的にモニタリングすることにより、褥瘡の蔓延と予防に役立てるシステム）の精度に影響を受けることを考慮する必要があります。